

## J A ぎふは、これまでも、これからも 総合事業経営により農業と地域へ貢献します。

協同組合の原点に立ち、組合員の皆さまとの対話を通じて、農業者の所得増大と地域の活性化に取り組めます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

J A は本来、農業者が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に農産物の販売や、信用事業（J A バンク）、共済事業（J A 共済）などの様々な事業を、営農相談や生活相談事業を通じて総合的に結び付け地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方で、地域農業の振興や地域づくりを応援していただける方は、農業の応援団として准組合員加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支の中で実施しているからこそ、J A の経営基盤が安定し、営農アドバイザー・T A C の配置や営農施設への投資が可能です。

主な取り組みは次のとおりです。

農業への貢献では、①営農マネージャー資格保有者32名・水稻T A C 4名、園芸T A C 5名、産直エリアマネージャー3名を配置し、②カントリーエレベータ・選果場・農機センター等の大規模営農施設を14施設運営し、③農業経営への支援として総額67,234千円を助成しています。

地域への貢献では、①管内6市3町の全てと災害時支援協定を締結し、②食農教育活動としての栽培体験を140カ所で開催し、③支店を核とした収穫祭・農業祭を64回開催し、④地域伝統行事の保存や地域活性化に取り組む団体に、地域活動支援基金として22団体に対して13,338千円の助成をしています。

J A ぎふは、これまでも、これからも、農業者（正組合員）と農業の応援団（准組合員）とともに、総合事業経営により農業と地域へ貢献することを、ここに宣言します。

令和元年6月20日

第53回ぎふ農業協同組合 総代会